

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 S46年度～			
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	02 起業と創造が支えるまちづくり
	小項目	施策	05 勤労者福祉
事務事業名			02 勤労者融資事業
根拠法令・規程等			備前市勤労者貸付規則
問担当課(室)			商工観光課
職・氏名			商工労政係長 中島和久
電 話			0869-64-1832

事業の実施	
対 象 (誰・何に対して)	市民及び市内勤労者。
目 的 (何のために)	市民及び市内勤労者に対し、生活資金の貸付を行うことにより、市民生活を支援する。
行 政 活 動 (どのような方法で)	中国労働金庫に資金預託し、これを原資に市民及び市内勤労者へ生活資金の貸付を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	市民及び市内勤労者へのスムーズな生活資金の貸付を行うことで、市民及び市内勤労者の生活を支援する。

事業の実績					
活 動	実 施 項 目	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	勤労者貸付件数(月平均)	件	153	121	90
	勤労者貸付額(月平均)	円	86,683,996	65,535,610	50,301,000
実 績	直 接 事 業 費	千円	80,000	70,000	50,000
	必 要 人 員	人	0.07人	0.00人	0.00人
	事 業 費 計	千円	80,664	70,000	50,000
財 源	国 庫 支 出 金	千円			
	受 益 者 負 担 金	千円			
	市 債	千円			
	そ の 他 ()	千円	80,000	70,000	50,000
一 般 財 源	千円	664	0	0	
受 益 者 負 担 比 率	%				

結果指標					
結果指標①	結果指標名	単 位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	勤労者貸付件数(月平均)	説明	1件当たりの経費		
	結 果 指 標 量	件	153	121	90
	対 前 年 比	%	-	79.1%	74.4%
結果指標②	活 動 コ ス ト	円	80,664,000	70,000,000	50,000,000
	単 位 当 たり コ ス ト	円	527,216	578,512	555,556
	勤労者貸付額(月平均)	説明	月平均貸付残高当たりの経費		
	結 果 指 標 量	円	86,683,996	65,535,610	50,301,000
対 前 年 比	%	-	75.6%	76.8%	
活 動 コ ス ト	円	80,664,000	70,000,000	50,000,000	
単 位 当 たり コ ス ト	円	0.93	1.07	0.99	

事業の成果					
限度額に対する貸付率	成 果 指 標 名	年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	目 標 値 (A)		320,000,000	280,000,000	200,000,000
	実 績 値 (B)		86,683,996	65,535,610	50,301,000
	達 成 率 (B/A)		27.1%	23.4%	25.2%
成果指標設定の考え方・式や説明					
貸付額/貸付限度額(直接事業費の4倍) 貸付限度額に対する貸付率(利用率)を求めることで、直接事業費の適正化を目指す。					

事業の目的、対象、内容と考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	市民及び市内勤労者に対し、生活資金の貸付を行うことで、市民及び市内勤労者の生活を支援することは妥当である。勤労者を取り巻く環境は、景気の動向や雇用の変化を受けやすく、安定した生活環境を保持するためにも、事業の推進は必要である。
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input checked="" type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	判定理由・課題認識
有効性の評価	市民参画度		有効性評価<A~E>
			判定理由・課題認識

平成21年度の状況						
目標値	結果指標量①	100件	結果指標量②	6,000万円	成果指標量	30%
状 況	拡 充		現 状 継 続	○	縮 小	
	見 直 し		整 理 統 合		休 止	
説 明	廃 止		廃 止	完了		
	預託金を平成20年度に下げているので、本年度は現状維持で貸付状況の推移を見守る。					

総合評価		評価区分<A~E>	
総合評価	D	妥当性	C
		有効性	D
勤労者貸付制度は、勤労者の安定した生活を促すために必要な事業であるが、利用者が減少傾向にあるため、中国労働金庫と協力して制度のPR等に努める。		効率性	E

平成22年度以降の方向性・内容						
方向性	拡 充		現 状 継 続	○	縮 小	
	見 直 し		整 理 統 合		休 止	
説 明	廃 止		廃 止	完了		
	平成20年度に預託金を5000万円(貸付限度額20億円)に下げたが、今後、貸付件数、貸付金額が減少傾向にあるのなら、預託金のさらなる見直しも必要となる。					
改善がある場合						
評価の視点	改 善 内 容		改 善 時 期	改 善 により 期待される 効果		
効率性	預託金の検討		H22	効率性の向上		
有効性	制度のPRの促進		H22	利用者の増加		